

手術室・中央材料室

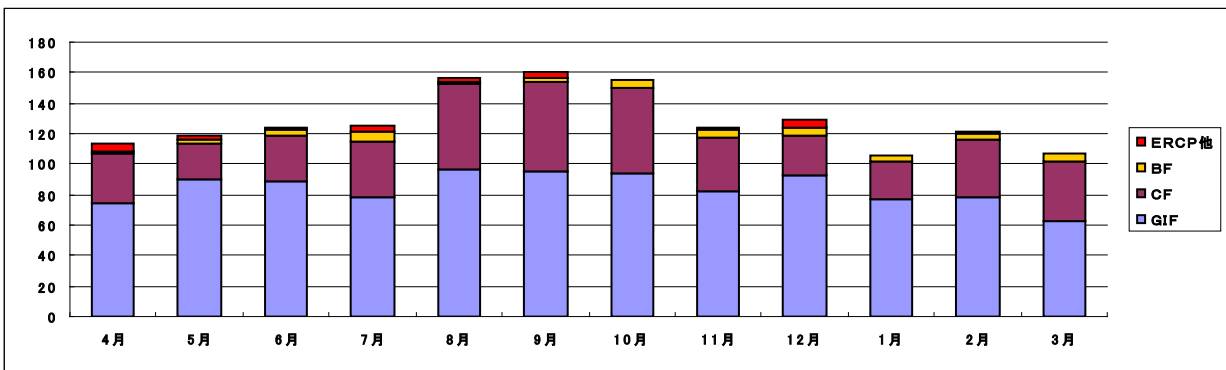
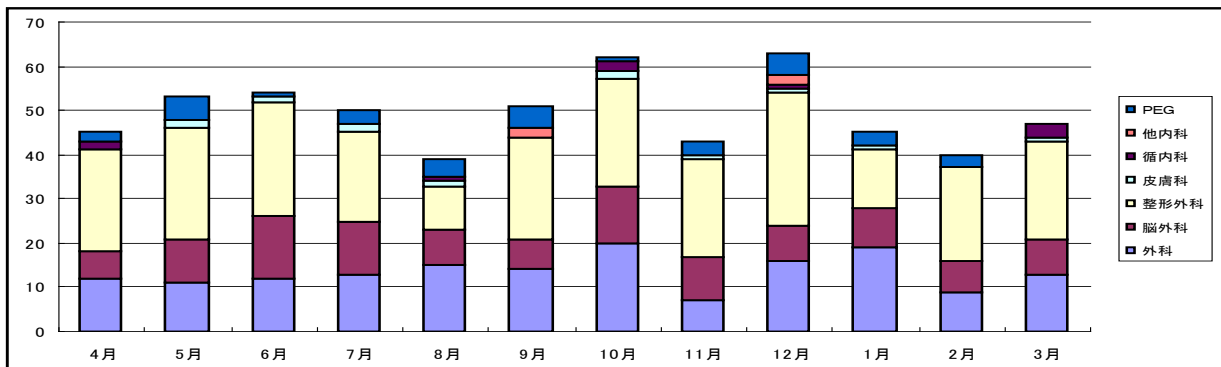
1. 目標と評価

- 1) 質の高い看護の提供をおこなう看護体制の充実
- 2) 病院経営における手術・中材部門の役割の発揮
- 3) チーム医療の充実と安全な医療の提供
- 4) 専門性を高め、リーダーシップを向上させる。

18年度から脳神経外科が加わり、手術を実施する診療科は6診療科になった。医師との連携を強化し、脳神経外科手術のシミュレーションを行ない円滑に手術が実施できるように調整を行なっている。外科・整形外科が総手術件数の大半を占めている。高齢患者の手術やハイリスク患者手術において、迅速かつ的確な介助で手術・麻酔の侵襲時間短縮(間接的看護)を行なっている。患者には安心と信頼できる看護を提供できるように努力している。

2. 運営状況

①診療科別手術件数



②内視鏡件数

3. 看護体制(平成 20 年 4 月 1 日現在)

配置人数	新人看護師数(%)	看護師の平均年齢	看護方式	夜間・休日体制
看護師 8 名 看護助手 1 名	0 名(0%)	35.8 歳	手術室・中央材料室 内視鏡室 機能別	オンコール

4. 看護の質に関すること

ヒヤリハット報告数・内容(上位3件)	29 件/年	与薬(注射)6件、医療機器5件、手技4件
パスの使用数・内容(上位3件)	10 件/年	CHS 10 件